ATF-PF 共通技術基盤SWG第１回会合
配布資料1-2

前回会合のおさらいと、ブレスト時コメント等の分析に基づく本会合の今後の進め方（案）

日本原子力研究開発機構

2026年2月16日

第0次回会合及びブレスト結果の概要

【摘要】

■ それぞれの被覆管に着目している他のSWGに比べて、共通技術基盤SWG（以下、本SWG）はその対象範囲が非常に広いことから、主軸に据える議論・検討内容に迷うところ。そこで、本SWGの参加者の興味・関心・懸念点などを今一度洗い出すために、第0次回としてweb会議でブレインストーミング（以下、ブレスト）を実施。

【0次回会合の概要】

■ 日時：2025年12月5日(金) 10:00-12:00

■ 場所：web会議

■ 目的：本SWGでの議論内容や方向性を第1回会合で設定するために、その前準備として第0次回では参加者の興味・関心・懸念点などの洗い出しを目的とした。まずは話題提供として事務局から3件のプレゼン発表を実施。

1. ATF実装化の観点から考える照射場（試験研究炉）　JAEA・加治氏
2. 燃料ペレット、ATCR、その他　電中研・園田氏
3. 解析の観点から　JAEA・田崎氏

0次回ブレストでの主な意見（結果の整理①）

① 政策的な観点

- ✓ 新型燃料の実用化のため必須である政策提言を見据えるべき
- ✓ 世界情勢の中での日本の立ち位置の確立のためATF開発を進める
- ✓ 技術の国産化、人材育成

② 経済的な観点

- ✓ ATF実装化によって事業者(電力会社、メーカー)が得られるベネフィットの提示
- ✓ 経済性の向上、コスト効率化

③ 専門分野からの観点

- ✓ 照射試験炉の後続炉の検討
- ✓ 国内外の照射試験炉の現状と課題の整理
- ✓ 照射データの整理・整備の戦略
- ✓ 燃料ペレットとその添加物について国内外の知見の整理
- ✓ 事故耐性制御棒
- ✓ 炉内の中性子経済など炉物理的視点
- ✓ 解析コードの担う役割
- ✓ ATF実装化によるバックエンド側への影響

0次回ブレストでの主な意見（結果の整理②）

④　本SWGやATF-PFのあり方に関して

- ✓　本SWGの役割・位置づけについて
- ✓　本SWGでの議論の方法・方向性について
- ✓　このATF-PFのプロダクト（成果物？）はどこに向かうのか？

今後の検討方法に関するアイデア（その１）

一般的に、

ブレストによって上がった意見は、グルーピング（分類）をした後に、その結果を見てアイディア全体の俯瞰や参加者間の合意形成などに利用。

先の２枚のスライドは、0次回ブレストで出た意見を参加者の視点（？）で分類してみたもの（他の着眼点での分類も可能）

第0次回では本SWGの役割・位置付けについて、
・「部門横断的な役割」
・「他SWGの範囲外となる分野を扱う役割」
が考えられる旨が述べられた。

次表に示すような分類方法ではどうか？
（他の着眼点からの分類があれば、是非ご意見を）

ブレスト結果の分類方法（案）

表１　ブレスト結果の分類方法

	政策的な観点	経済的な観点	専門分野の観点
横断的な（横串的な）課題点			
他のSWGでカバーされない分野			

リード役の先生との打合せでは、上記のような整理の仕方で良いと思うが、分類した後に議論を進めていくに当たっては、**優先順位を付けないといけない**のではとのご指摘あり。

また、検討ネタ（案）ご説明後の意見交換では、**燃料そのものを検討する機会**も、是非このSWGで実施できればとのご意見も頂戴した。

ブレスト結果の分類方法（案）

経済的なメリットについて、本SWGで議論することが重要ではないか？（リード役の先生のコメント）→2/16に議論

表１　ブレスト結果の分類方法

（i）（ii）と分類することはOKだが、それぞれの解像度はどの位にするのかも検討する必要ありではないか？（リード役の先生のコメント）
→2/16に議論

	政策的な観点	経済的な観点	専門分野の観点
（i）横断的な（横串的な）課題点	③	②	①
（ii）のSWGでカバーされない分野	③	②	①

今後の検討方法に関するアイデア（その２）

第２回会合以降は、毎回、検討テーマを①横断的な課題点、②他SWGでカバーされない分野、の２本立てで「専門分野の観点」→「経済的な観点」→「政策的な観点」で議論を進めていってはどうか？（リード役の先生のコメントを受けてのJAEA回答案）